

根崎町内会では 令和5年度に「地区防災計画」を 策定しました！

「仲良くみんなで助け合う地域」を
テーマに防災企画を考えました！

地区防災計画とは？

地区防災計画は、地域住民による自発的な防災活動であり、東日本大震災を契機に平成25年に創設されました。

過去の災害において避難や救命救助などに大きな役割を果たしてきた地域での助け合い、支え合いの「共助の力」を育む取り組みです。



4回のワークショップを通して5つの企画を考えました！

1

災害ごとの避難経路を全員が理解して
安全に避難してほしい！

実施予定

北根、組ごとマップ

一目で自分の所属する組が分かるようにした組ごとのハザードマップと北根全26組全体のハザードマップを作ります。お店や施設に貼ることで、町内会に入っていない家庭にも周知します。

2

子どもから高齢者まで町内みんながつながり、
顔見知りになる事で助け合う町にしたい！

豊田織機へGO！

主に小さな子どもや高齢者の避難方法を検討し、車や徒歩での避難、それぞれの家庭に合った避難方法で、実際に避難体験ができる機会を作ります。地元企業(豊田織機)の支援を活用し、楽しみながら参加できるようにします。

3

消防団の
サイレンの意味を知ってほしい！

実施予定

消防サイレンの活用

サイレンの長さ・回数で何を知らせているか分かる表を作り、各世帯に配布します。日時を決めてサイレンを鳴らし避難訓練を行います。サイレンが聞こえない地域には、防災ラジオなどを活用します。

4

「仲良くみんなで助け合う地域」を目指して、
スマホを活用して情報を共有したい！

スマホなどで 楽しみ助け合いましょう

安全な避難行動につなぐため、スマートフォン(スマホ)を使って助け合いができる町を目指します。防災アプリを活用できるようにするためスマホ教室を開きます。また、回覧板を外国語へ変換できる仕組みを検討します。

5

若い世代にも参加してほしい！
災害時の避難所生活を体験してみよう！

家族でGO！ 防災キャンプ体験

災害時を想定した非常食づくりや、避難所泊・テント泊・車中泊をして避難所生活を体験する機会を作ります。経験することで、被災時に快適に過ごすために必要な物や情報について気づくことができます。

本事業では、今後の地区防災の

取り組みについて、町内の皆さんと検討を重ねました。
災害から身を守るためには、自らが災害に備える「自助」が基本です。一人一人が災害を自分事として考え、備えましょう！
また、地域での助け合い・支え合いの「共助」も大変重要です。

この計画した活動に取り組み、

根崎町の防災力向上を目指します。

根崎町内会長



地区防災訓練計画作成までの流れ

町内会役員、民生委員、子供会役員など幅広い世代が地域の代表として集まり、被災地での学びを地域の防災力に活かす活動をしている認定NPO法人愛知ネットの協力を得て、ワークショップ(話し合い)を行いました。参加者で意見交換を行い、令和6年度以降に取り組む防災活動の内容を作成しました。

第1回
6/10
(土)

「地区の特性の確認」

地域の特徴から地域防災を考えるワークショップ(話し合い)を行い、地域防災の理想(あるべき姿)を考え、「仲良くみんなで助け合う地域」を、みんなのテーマとしました！



第2回
7/15
(土)

「災害時の課題抽出」

高齢者支援、若者の参画、地域の活動、避難方法、からテーマを1つ選択し、各グループで問題点と課題の整理を行いました。

課題

- ①避難先・避難経路の周知、②情報収集・発信、③要支援者の避難行動、④若者の参画、⑤備蓄



第3回
8/19
(土)

「課題解決について検討」

5つのグループでテーマを1つに選択し、避難先・避難経路の周知、若者の参画、備蓄の3つに絞り込み、課題に対して解決に向けた話し合い、アイデア出しを行いました。



第4回
9/16
(土)

「防災活動メニューのアイデア出しと企画書の作成」

災害時の活動に対して、次年度以降に根崎町として取り組みたい防災活動メニューのアイデアを出しました。これをもとに5つのグループの防災活動メニューで企画書を作成しました。



参加者の感想



考えたことを発表する方法だったので、緊張感をもって話し合いができて良かった。

色々な方が参加して様々な意見が出て良かったが、連続で参加できる人がもっといいと思った。



他のグループで作成した案もしっかりと聞いた。他市町村の意見も聞いてみたいと思った。

このような機会がなければ参加できないので、話し合いの場があって良かった。



愛知工業大学地域防災研究センターからのメッセージ

地区防災計画において、地域の危険な場所を知り、高齢者や子供などの要配慮の方も含め、避難の課題や避難方法について皆で議論し、避難先や避難の仕方について、地域の人たちと共有することは大変大事なことです。そして、実際の体験は、記憶にも残る良い方法です。また、スマホなどの活用方法や、防災キャンプなどにより災害時の過ごしかたに気づくことも大切なことです。来年度も地域課題についての検討を継続し、そして行動に移していただき、根崎町の地域防災力が向上することを期待しています。



横田センター長